



1999

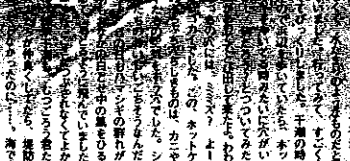
紙上シンポジウム

# 人と海の共存

海の恵み、  
私たちの力で暮らすこと

手塚と海はお友だち

**THE**



一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百、

地球上の生物を誕生させ  
育み、進化させる為  
私たちのいのちの  
源である海は  
いま困難な状況に  
置かれています。

場と人間のかかわりについて  
様々な立場のみなさんに  
白熱な意見を  
お寄せいただきました。

人と海の共存

尾圖說卷之二十七 主碑

[illegible]

人と海の共存

1000

[illegible]

生命の海



東京部 岩國商人  
(六十二) 順、先達駐鎌倉

[illegible]

皆様と一緒に考える紙上シンポジウム

# 人と海の共存

「人と海の共存」をテーマにご意見をお寄せ下さい。

20種前後の正意見を紙面で紹介し、読者の理解と共感

人と海のあるべき姿を考えます。

海の恵み、  
私たちのできること。

### 意見彙集中

※映画で紹介するご意見には、お名前、年齢、居住  
地域（東京都など）、職業を記載します。投稿日には  
2千円の現金券を差し上げます。ご意見は400字以内  
とごめいへ。住所、氏名、年齢、職業、電話番号  
を記し封筒の下配へお送り下さい。  
第1回の締め切りは8月15日（日）午後5時。  
●あて先：〒104-8655東京都中央区新富333  
朝日新聞社応務局  
（紙上シンポジウム 人と海の共存）部

● 国際海洋シンポジウム'99

10599 International Ocean Symposium  
海は人類を救えるか  
The Ocean Can She Save Us?

平成11年7月28日(水)・29日(木) 東京国際展示場「東京ビッグサイト」国際会議場  
主催/日本財団、朝日新聞社、国民の祝日「海の日」海事関係団体連絡会

7月28日(水)「未知なるものとの遭遇」～深海が秘める地球のしくみと未来へのメッセージ～

●記念講演 ザビエル・バジション (コレッジ・ド・フランス教授) ●基調講演 栗本勝巳 (東京大学海洋研究所)  
●パネルディスカッション コーナー・野中とらよ (パナソニック) 座談会・西岡敏子、松本 昌、ザビエル・バジション

7月29日(木)「海洋領家としての日本」～過去から未来へ～

●記念講演 梅村忠夫(印立民族学研究所顧問) 17:30-18:00 祝賀会  
●パネルディスカッション コーディネーター 野中ともよ 18:00-18:30 祝賀会  
●講演者 川部平太(昭和大学)  
●講演者 日下公人(アソシエイト)

◆参加费(资料+昼食代、制费込)1日2,000円/両日3,000円◆定員1,000名(1日)

[illegible]

## 参加者募集



日本製鐵